

# 手と手をつないで

No.347

柳井 美枝

(公社)福岡県人権研究所 特命研究員



## ハンゲルの日

韓国に来て知ったことですが、韓国には、文字を記念した珍しい祝日「ハンゲルの日」があります。朝鮮王朝第4代王の世宗(セジョン) (1397～1450年)が、1446年10月9日に「訓民正音」(フンミンジョンウム) (ハンゲルの古称および「ハンゲル」を解説した書物)を公布した日を記念して創設され、10月9日は公休日になっています。「ハンゲル」の「ハン」は「韓」または「大いなる」という意味があり、「ゲル」は「文字」のことなので、韓国では「ハンゲル」を「偉大な文字」と解釈しています。

かつて朝鮮半島の文字は、中国から伝えられた漢字のみを使用していました。ところが、漢字が理解できたのは支配層など一部の人のみで、庶民の多くは読むことさえできませんでした。そこで、庶民にも分かりやすい文字が必要だと考えた世宗が、学者を集めて作らせたのが「ハンゲル」だと言われています。ハンゲルを創設した世宗は、韓国で最も尊敬される人物の一人として、現在は1万ウォン紙幣の肖像にもなっています。

ハンゲルは、唇や舌の形などが象形化された文字で、何通りかの母音と子音の組み合わせで構成されています。例えば「a」「ga」「sa」「ta」「na

という字の場合は、左側が子音で右側が母音になっており、この組み合わせはローマ字とよく似ています。ハンゲルの科学的かつ合理的な構造や、その独創性は高い評価を受けており、ハンゲルを解説した『訓民正音解例本』は、1997年にユネスコの世界記録遺産に登録されました。「訓民正音」とは「民に教える正しい音」という意味だそうです。

私の友人はよく「韓国語って難しそうだね」と言いますが、実は、韓国語は日本人にとって最も学びやすい言語の一つだと言われています。語順が日本語とほぼ同じで、難解な文型を覚える必要がないことから、学生時代に英語の文法で苦労した人にはお薦めです(実は私もその一人です)。また、もともと漢字を使用していたので、日本語と同じ発音や似た音も数多く存在します。例えば「無視」は韓国語でも「ムシ」と発音しますし、「汽車」は「キチャ」と似た音をしています。韓国語を少し学べば日本語との類似点を多く見つけることができるでしょう。

最近福岡県内でも観光地や駅、バス停などでハンゲル表記を見かけるようになりました。県内の外国人

入国者は年々増加しており、観光庁観光産業課の統計によれば、平成28年に福岡空港と博多港から入国した外国人の数は初めて250万人を超え、そのうちの約4割が韓国からで、台湾・中国・香港からの合計が約2割だということです。街中での外国語表記はこれからますます増えていくかもしれません。

韓国では「ハンゲルの日」に作文大会など、文字に関するイベントが行われます。もし、日本に「ひらがなの日」があれば、どのようなイベントが行われるのでしょうか。文字は私たちが生活する上でとても大切なものであり、文化の象徴でもあります。私にとって、韓国で迎えた「ハンゲルの日」は、何気なく使っている文字を見直す、いい機会になりました。

